



下妻特別支援学校 交流だより

令和4年度版

『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

今年度も新型コロナウイルスの感染状況によって、直接交流を行うことができた時期もありましたが、間接交流を行うことで継続的な交流を進めてきました。児童生徒一人ひとりが主体的に活動に参加し、地域社会の人たちと交流することができました。

令和5年2月10日

上妻小学校との学校間交流

本校小学部3年生と上妻小学校3年生、本校小学部4年生と上妻小学校4年生で、合計3回オンライン交流を行いました。

3年生の第1回目はお互いに学校紹介や質問等を行い、一緒に『エピカニクス』のダンスを楽しみました。第2回目は学習の様子や作品の紹介をし合ったりメッセージを送り合ったりし、楽しかった『エピカニクス』をもう一度踊りました。



4年生は上妻小のみなさんから各教科の学習の様子を紹介してもらい、本校からは文化祭の時の学習発表ビデオや学習で頑張っていることを発表しました。上妻小の4年生が参加してくれたのは初めてで、2年間続けて交流することができました。

楽しい時間を共有することができ、ありがとうございました。

居住地校交流

今年度は、5名の小学部生と1名の中学部生が居住地校交流を行いました。直接交流を希望した児童たちは、事前打ち合わせで居住地校を訪問し、当日は音楽や体育などそれぞれの教科や活動内容で地域の小学生とのふれあいを楽しむことができました。間接交流を希望した児童・生徒は、それぞれの居住地校とお便りをやりとりしました。まだ年度内の交流が続いている人もいます。

下妻中学校との学校間交流

9/28(水)に下妻中学校の3年生とオンラインで交流をしました。初めに自己紹介をしました。互いにカードや写真、タブレットを使用して、名前と好きな物を伝えました。その後は、パラリンピックの競技種目「ボッチャ」を簡単にアレンジした「レクリエーションボッチャ」を行い、本校 VS 下妻中でゲームをしました。お互いに初めて顔を合わせた交流でしたが、みんな笑顔で楽しむことができました。交流終了後に、下妻中学校の皆さんからメッセージカードもいただきました。



下妻第二高等学校との学校間交流

6月16日(木)、下妻第二高等学校 JRC 部の皆さんを本校に招いて、本校高等部生 23 名が直接交流を行いました。それぞれの活動場所に分かれ、各グループで競技ポッチャとレクリエーションポッチャを実施しました。下妻二高の生徒達は、交互にボールを投げる中で補助具を準備したり、声援を送ったり、ゲームの作戦を考えたりと、積極的にコミュニケーションを取る姿が見られ、本校の生徒にとってもよい経験となりました。互いを思いやり、協力して助け合いながら活動することができました。



地域交流・花いっぱい活動

今年は3年ぶりに下妻市近隣の各団体の皆さん(下妻市婦人会、下妻市青年会議所、下妻市社会福祉協議会)と一緒に、本校で花いっぱい活動を実施することができました。6月はマリーゴールドの花、10月はパンジーの花を植えました。児童生徒たちは、地域の方々とふれあいながら、元気に花植え活動を行うことができました。プランターは、下妻市役所や郵便局、道の駅など、公共の施設に設置しました。ぜひ見ていただければと思います。来年度もまた、一緒に活動できるといいですね。



地域交流・寄宿舍交流

11月に下妻市婦人会の方と直接交流でポッチャを行いました。婦人会の方と舎生の混合チーム同士で試合をしたり、婦人会チームと舎生チームで試合をしたりと、時間いっぱいまで盛り上がりました。婦人会の方から「楽しかった」「面白かった」と感想をいただきました。

舎生がステンシルで色づけしたエコバッグをプレゼントし、「すごく素敵」と喜んでもらえました。来年度も直接交流が実施できるといいですね。



★交流だよりは、本校ホームページからも見るすることができます。ぜひご覧ください！